

# 代表質問

# 区政を

### 本会議の録画中継を

### 区議会ホームページでご覧いただけます http://www.gikai-adachi.jp



ように取り組んでいるのか。

【教委員長】青少年委員会が平成20年度から、「年中行事・記念日」を大切に「取組み」を実施している。本庁舎区民ロビーに季節の飾りつけを行い、それぞれの行事の「いわれ」を掲示するとともに、小・中学校にも配付し、一年を通じて季節ごとの伝統行事を周知している。

さらに、足立区文化団体連合会や足立区郷土芸能保存会の協力を得て、区内小中学生を対象とした「伝統文化子ども教室」も開催している。今後も、日本の伝統や文化を大切にする取組みを積極的に進めていく。

#### 区内製造業へさらなる振興策を

【問】下町5区の企業の試作開発品コンクール、TASAKIものづくり大賞で、区内企業は毎年優秀な成績を取っており、昨年度は足立ブランド企業が大賞を射止めたと聞く。今後さらにこの流れを加速するための具体的な支援策について伺う。

#### 産業経済

平成22年度から開催している新製品開発講座には、足立ブランド企業が多数参加し、TASAKIものづくり大賞に出品することを目標としている。今後も、足立ブランドの各企業には、リーディング企業の役割を果たしていただくため、積極的な応募を働きかけていく。

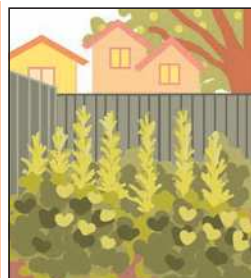
#### 放置されている空き家や空き地に適正な管理を

【問】所有者が亡くなる等、空き家になって放置されている老朽危険家は区内に何棟あり、その対策はどうするのか。

また、所有者が不明で空き地になっている土地にも同様の対応をすべきと思うがどうか。

【環境】現在約700棟が空き家となっており、対策として、所有者等を調査し、適正な管理に向けて指導、勧告を行うとともに、特に危険度が高い物件から順次解体に向けた対応を講じている。

空き地の管理では、今後、環境部が総合窓口となり、悪質な場合は、条例の適用対象として、より厳しい措置を講じていく。



#### 細街路の整備を進め、災害に強いまちづくりを

【問】これまでの細街路整備の進捗率はどの程度か。今後、安全なまちづくりを促進していくため、細街路整備をどのように進めていくのか。

#### 建築

整備目標延長約22kmに対し、整備済みが約61kmであり、進捗率は約27%である。今後、工事を区が直接施工することで、区内事業者の受注機会の拡大や特定財源の確保を図りつつ、より効率的に推進していく。

#### 災害時の被害を減らすために無接道敷地にも対応策を

【問】区内には無接道の土地が多数存在し、実態調査に着手したと聞く。これらの土地に建物耐震補強工事の助成対象外だが、思い切った対応策を打ち出すべきと思うがどうか。

【建築】無接道のため建替え困難な家屋が、地図上の調査で約9千棟抽出された。これら家屋は老朽化し、構造耐力不足のものも多く、耐震補強工事よりも建替え促進がより効果的と認識している。今後も調査を順次進めながら課題を分析し、平成25年度中を目途に、建替えの促進に向けた対応策を検討していく。

【問】学校教育部の来年度予算編成方針に、「基礎学力向上への各小・中学校の取り組みを強化するため、学校管理職の学校経営について直接助言・指導する『学校経営支援担当部』を設置する」とあるが、具体的にどのような体制で、何をやるのか。

【学校教育】日常的に学校現場に入り、小・中学校での学校経営上の課題を明らかにし、学校現場と一体になって解決していく。同時に、経営改善の実践例を共有していくことで、区の取り組みや考え方への理解の徹底を図り、区全体の学力を向上させていく。そのために、行政職と校長経験者からなる専管組織を設ける方向で検討を進めている。

#### 新組織「学校経営支援担当部」は何に取り組みのか

【問】学校統廃合は、区全体の子どもごと、区全体の施策、財政等を考慮して避けられない課題である。今後の学校統廃合、施設更新計画をどのように考えているのか。

【教育長】小・中学校の適正配置事業は、計画的かつ継続的に進めなければならない事業であり、現在、次に取り組みすべきエリアを具体的に検討している。また、施設更新では、多額の経費が必要となるため、統合によって学校の縮減を図りながら進めていくことが不可欠である。

## 足立区議会公明党

### 区民に寄り添う

### 優しい社会の実現へ！



公明党 前野和男 議員

り、適正規模・適正配置の計画と合わせて、平成25年1月を目途に公表していく。

#### 絆づくりへの具体施策を問う

【問】単身世帯や高齢者世帯等の「社会的孤立」を防ぐため、地域で寄り添う支援活動「孤立ゼロプロジェクト」が始まる。さらなる事業拡大としての「体制としくみ」づくりを、どう構築していくのか。

また、事業の大切さをどう周知し、理解を広めていくのか。

#### 区長

絆づくり担当部が全体の企画調整役を担い、区内25ヶ所の地域包括支援センターが、孤立している高齢者に必要なサービスを提供する等、コーディネート機能を果たす体制で臨んでいく。

また、町会・自治会と民生委員のちからをお借りして実態調査を行い、寄り添い支援活動では、町会・自治会をはじめ、老人クラブやボランティア、NPO団体等、多くの区民の皆様にも参画をお願いしていく。

中でも、実態調査の段階から参画していただく方々には、孤立ゼロプロジェクトの取り組みが、「暮らしやすい」「住み続けたい」まちづくりの取り組みであること、この考え方が広く地域に浸透することを目指していく。

東綾瀬の公共施設更新に注目

【問】東綾瀬区民事務所とともにも家庭支援センターの建物は、施設更新の時期を迎えている。改築にあたり複合施設の検討を進めていると聞くが、現時点での区の考えを伺う。

また、こども家庭支援センター移転に伴う現建物の活用については、民間活力を導入して取り組むべきかどうか。

【政策】東綾瀬区民事務所等の既存建物の更新については、保育所、学童保育室、区民事務所、東和保健総合センター等の公共施設や民間施設との複合化の可能性も検討していく。

また、周辺の施設状況や立地条件等の特性を総合的に勘案し、民間資金の導入を含む費用対効果の高い更新手法や施設の構成を検討していく。

#### 防災リーダーの均等配置を求む

【問】全ての避難所運営会議に防災士を配置すべきと思うが、今後の取り組みを伺う。

また、均等に配置をする工夫はできないか。

助成事業の募集にあたり未配置の避難所に直接働きかける等、配慮しているが、今後、PR方法をさらに工夫していく。

また、配置を調整して均等化することも検討していく。

#### 環境整備でスポーツ振興！

【問】左記事項の実現を、都に強く求めるべきだが、どうか。

①舎人公園陸上競技場の人工芝化、及びナイター照明の設置  
②江北給水所の上部にサッカー場等のスポーツ施設等の設置

【地域】①都は平成25年度に、陸上競技場のトラック舗装材の張替え、その他付帯設備の改修を行う予定である。人工芝化、ナイター照明設置等の要望を取りまとめ、来年度の改修工事の際に実施するよう、都に対し早急に申し入れをしていく。

#### 都市建設

②上部利用は、今後、スポーツ施設も含め様々な意見を伺いながら、区の考えをまとめ、都へ要望していく。

【問】足立区産業展示会「あだちメッセ2012」の来場者の評価を伺う。